

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 専任講師

氏名： 宮脇 健

研究課題		市場の豊洲移転に関するリスクコミュニケーションの実証研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>豊洲市場移転に関して東京都民にどのような影響をもたらしてきたのかを実証的に研究することを目的としている。</p> <p>市場移転に関する問題は一昨年より東京都民にとって重要な争点の一つであり、リスクともいえる。突然の豊洲移転を巡り、議論が二転三転してきたこの政策的な決定に関して、都民は小さなグループを形成し議論を試みることで、以前持っていた態度を変容させるのか否かを検証することを目的としている。</p> <p>政治的なもしくはリスクにかかわる問題について、小さなフォーカスグループでの議論がどのような態度変容をもたらしているのかといった研究は、豊洲移転をめぐる政策の議論に関しては、土壌汚染問題といった科学的かつ専門的な問題のため、議論を行うことが難しい。だが、この問題は食の安全に関する問題でもあるので、土壌汚染対策や東京都に対する信頼、ひいては、都知事に対する信頼、リスク不安など様々な要因を探る必要性がある。</p>
	研究成果	<p>本研究では、豊洲への市場の移転という政策転換について、東京都民に実施したアンケート調査に基づき、態度が変化したのかどうか、考察を試みた。</p> <p>その結果、第一に、リスクを回避する傾向にある住民は、今回の市場移転が食の安全を考えるきっかけになることから、概ね政策に対して評価する傾向にあることがわかった。また、知事に対する信頼もしくは、豊洲への移転という価値の共有に対して信頼をしている可能性が高いことが明らかになった。第二に、リスクを受容するグループでは、メディアの情報を基づき、政策の転換に関する評価を行っていることがわかった。このグループでも、政策に対する評価は概ね肯定的であることが明らかになった。ただし、この態度がどのように変化するかを、小グループでのディスカッションで解明することは、アンケート対象者内で集まるのが難しかったため、できなかった。その点は今後の課題としたい。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	※業績なし。
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	<p>①学会発表 「リスク受容と政策態度に関する研究 ―豊洲への市場移転に関する意識調査分析―」、日本公共政策学会研究大会、2018年6月16日、桜美林大学</p> <p>②学会発表 Trust and change of people to the administrative system in Japan 2018年7月22日、International Political Science Association 2018 World congress at brisbane</p>
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	※業績なし。